

科 目 名
歴史学と課題Ⅱ History Ⅱ

2年 後期 2単位 選択

西 村 正 顯

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：2-(1), 3-(5)

情報教育目標との対応：

建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	A 1	建築計画コース		
	f, g	建築構造コース		

【概 要】

本講では、日本の中世・近世の歴史を中心に、歴史は良くも悪くも「人が作っていくもの」であることを、それぞれの時代の人物を取り上げながら検証してみたい。

【到達度目標】

- (1) 中世・近世・近代の歴史の発展を理解する。
- (2) 各時代に生きた人物に焦点を当てながら、その人物を通してそれぞれの時代を考察する。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① 観応の擾乱	室町幕府が成立したが、南北朝の動乱は約60年間続いた。その背景を考える。
② 室町幕府の全盛と陰り ……義満～義教	将軍家の人間関係を通して政治を考える。
③ 応仁の乱	応仁の乱の背景・経過・影響等について様々な角度から考察する。
④ 中世における肥後	鎌倉時代から戦国時代の肥後国の動静について考察する。
⑤ 戦国時代の九州	教科書で教えられることのない戦国時代の郷土を考察する。
⑥ 肥後国主としての加藤清正	加藤清正が「せいしょうこうさま」と尊崇される理由を考察する。
⑦ 江戸幕府の成立 ……家康～家光	家康の征夷大將軍就任から家光による幕藩体制の確立までの過程を考察する。
⑧ 文治政治	社会情勢の変化に対応するため武断政治と決別した幕府の政策を検証する。
⑨ 元禄文化	泰平の世となり、大名や新興商工業者を支持者とした日本独自の文化が発展した。
⑩ 享保の改革	改革の背景とその功罪について検証する。
⑪ 上杉鷹山	米沢藩の改革を通して、政治を考える。
⑫ 島津斉彬と西郷隆盛	明治維新の大功労者西郷隆盛にとっての島津斉彬とは？人生における出会いを考える。
⑬ 吉田松陰とその門下生	明治期の日本の政治を動かした長州藩の思想的支柱は松下村塾にあった。
⑭ 日清・日露戦争	何故日本人はそこまで燃えることが出来たのか。日清・日露戦争の背景と意義について考える。
⑮ 武士の時代から官僚の時代へ	日露戦争後の日本の変化を石光真清の手記「城下の人」を通して考える。学生自身による自己評価

【授業方法】

テキスト及び各時限に配布する資料をもとに講義を行う。

【学習到達度の評価】

毎時間その授業についてレポートを書かせ、授業の理解度を把握する。

【評価方法】

- 1) 毎時間書かせたレポートで評価する。レポートの点数は毎回7～8点満点とし定期考査は行わない。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【教科書・教材】

テキスト「日本史のライブラリー」（とうほう）、配付資料ほか

【履修上の注意】

- 1) 歴史的事象について「何故？」という気持ちで、自ら授業に積極的に参加し考える。
- 2) 歴史は暗記ものではない。興味をもって流れをつかみ取ること。
- 3) 必ず教科書を購入すること。（この教科書は卒業後も役に立つものである）